

平成26年3月期第3四半期の連結ソルベンシー・マージン比率の公表について

平成26年3月期第3四半期の当社連結ソルベンシー・マージン比率（保険持株会社およびその子会社等に係る保険金等の支払能力の充実の状況）を、下記のとおり算出しましたのでお知らせいたします。

記

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (平成25年12月31日)
(A)連結ソルベンシー・マージン総額	3,978,679	4,502,481
資本金等	828,552	962,807
価格変動準備金	74,491	77,785
危険準備金	38,505	40,127
異常危険準備金	903,446	935,157
一般貸倒引当金	2,970	3,070
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	1,550,539	1,822,578
土地の含み損益	153,710	153,903
保険料積立金等余剰部分	181,442	201,255
負債性資本調達手段等	—	—
保険料積立金等余剰部分及び負債性資本調達手段等のうち、 マージンに算入されない額	—	—
少額短期保険業者に係るマージン総額	141	58
控除項目	53,856	54,435
その他	298,735	360,174
(B)連結リスクの合計額 $\sqrt{(\sqrt{(R_1^2 + R_2^2)} + R_3 + R_4)^2 + (R_5 + R_6 + R_7)^2} + R_8 + R_9$	1,079,607	1,185,922
損害保険契約の一般保険リスク(R ₁)	228,567	241,116
生命保険契約の保険リスク(R ₂)	34,976	38,119
第三分野保険の保険リスク(R ₃)	3,641	3,963
少額短期保険業者の保険リスク(R ₄)	123	94
予定利率リスク(R ₅)	34,907	34,652
生命保険契約の最低保証リスク(R ₆)	5,279	4,438
資産運用リスク(R ₇)	689,899	790,990
経営管理リスク(R ₈)	26,033	28,317
損害保険契約の巨大災害リスク(R ₉)	286,601	291,220
(C)連結ソルベンシー・マージン比率 [(A)/(B)×1/2]×100	737.0%	759.3%

(注) 1. 「連結ソルベンシー・マージン比率」とは、保険業法施行規則第210条の11の3および第210条の11の4ならびに平成23年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出された比率です。当該比率は、行政当局が保険会社グループを監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされています。

2. 当第3四半期連結会計期間については、保険業法等の規定に準じて当社が妥当と考える方法で計算しており、一部、当中間連結会計期間の数字を使用するなどの簡便法を採用しています。

以上